当院にて尿路上皮がんの治療を受けた方へ

研究：「上部尿路癌に対する手術成績に関する検討」の実施について

1．研究の対象

1993 年 4 月から 2025 年 3 月までに当院で上部尿路癌に対して手術を受けられた方。

2．研究目的・方法

現在、転移の無い上部尿路癌に対する標準治療は手術（腎尿管全摘除術）です。手術に関してリンパ郭清や術後補助化学療法の重要性が指摘されるようになってきました。また、この手術では、膀胱内再発も大きな問題となっています。これらの問題点を、自院でのデータを検討することで明らかにし、さらに予後因子を明らかにすることができれば、より詳細な情報提供ができ、治療法の確立に役立つと考えられます。四国がんセンターで上部尿路癌に対して手術を受けられた方のデータを利用し、術後再発や生存期間に関連する予後予測因子を検討することを目的としています。研究方法は、後ろ向き観察研究（カルテ調査のみ）で、侵襲や治療介入はありません。これまでに得られたデータや画像所見などから必要な因子を抽出し検討します。

3．研究に用いる試料・情報の種類

カルテから、カルテ番号、生年月日、病歴、手術日、手術内容、手術合併症、画像所見、化学療法開始日・治療内容・効果、などを抽出し使用します。

情報利用開始予定日は、2025 年 7 月 1 日です。

4．研究全体の期間と予定症例数

研究期間は当院実施承認後～2030 年 12 月末、予定症例数は 200 例。

5．研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表します。

6．個人情報の取り扱いについて

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を使用します。また、研究用の番号とあなたの名前を結びつける対応表を作成し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にも個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究機関】国立病院機構　四国がんセンター　泌尿器科

【研究責任者】橋根勝義

【連絡先】〒791-0280　愛媛県松山市南梅本町甲 160

国立病院機構　四国がんセンター　泌尿器科　橋根勝義

TEL: 089-999-1111（代表）

FAX: 089-999-1100

本研究への参加に同意しない場合は、連絡先までご連絡下さい